

速報

遂に 6,000 筆達成！

—— いよいよ 7 月・あと 1 か月！ 頑張りましょう ——



6/26(木曜)、原水協主催の署名行動で「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」長崎民医連集約数が 6000 筆となりました。ピースチャレンジは 128 件、常勤職員比 30% (全職員比 20%)です。

いよいよ被爆 80 年(8 月 9 日)まで 1 か月あまりです。 あとひと踏ん張り！

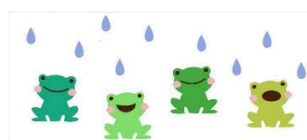
■職場ぐるみで取り組みを進めましょう！

■まず、周りから。例えばご家族の署名を！

■患者さん・利用者

さんにもう一声！

頑張りましょう！



私と平和



一人ひとりにとっての「平和」



平和ってなんだろう？

戦争をしていなくても命や健康が守られない、学習の機会が奪われ私たちにとって「アタリマエ」のことが「アリエナイ」 そんな現状が世界にはあります。

ここ最近では 2020 年の新型コロナウイルスが生活に大きく影響を与え、お盆休みなのに帰省ができず家族に会えなかったり、旅行に行くことができなかったりと、今まで当たり前のように手にしていた自由のない生活を私たちは強いられました。

家族や友達とご飯を食べることや、何気ないことで一緒に笑い合えること、そんな何気ない日々が当たり前ではありませんでした。そう感じている人も多いのではないのでしょうか。

しかし、人々の「当たり前」を奪ったのは新型コロナだけではなく。80 年前の 8 月 15 日に終わりを迎えた第二次世界大戦。あの戦争の経験した方たちもまた、突然「日常」を失った人々ではないでしょうか。今でも 8 月に入ると蝉の鳴き声とともに、テレビやインターネットから聞こえてくる戦争の話題。

「核兵器をなくさなければならない」、「かつての戦争の過ちを繰り返してはいけない」という声は、戦争を生き抜いた方たちの心からの叫びだと思います。

かつて日本が経験した戦争について知り、想いを馳せること、核兵器の廃絶に向けて声を上げることが大切であることを前提としたうえで、身近なところから一人ひとりにとっての「平和」とは何かを考えることが重要だと思っています。

大浦診療所師長 長瀬隆史